

広島市植物公園

見どころ案内

ハナショウブ&アジサイまつり
(6/7~29日の土日)

ヤマアジサイ(アジサイ科)

日本庭園の奥は「ヤマアジサイの里」。猪脅しの響く静寂な空間に、谷奥までヤマアジサイが咲き乱れる姿は必見!

アジサイ展

6月29日(日)まで屋外展示場にて開催
清楚なヤマアジサイ、素朴なガクアジサイ、華麗な園芸アジサイ、珍しいアジサイの仲間などアジサイの奥深い魅力を紹介しています。

ブラシノキの仲間

(フトモモ科)
枝先に着ける真っ赤な花は正にブラシ。品種により色の濃淡があります。

ザクロ(ザクロ科)

実ではなく、花を主に観賞する花ザクロの一品種です。淡いピンク色の蕾をたくさんつけています。

ヤマボウシ(ミズキ科)

園内各所で見頃となっています。屋外展示場前には冬に落葉するヤマボウシの花とは、少し趣が違う常緑の品種があります。

タイサンボク(モクレン科)

花の進化園でも最下段に植栽されているように、原始的な花の構造。芳香のある大きな花を枝先に咲かせています。観察路に留まらず、奥の崖下の株をご覧ください。顔前で花を観察することができます。

ハナショウブ(アヤメ科)

江戸系・伊勢系・肥後系・長井系など100品種600株が見頃。現在20品種しか残っていないと言われる『菖翁花』と呼ばれる江戸時代から連綿と受け継がれる品種もご覧いただけます。

ウンカリナ グラ
ンディディエリ
(ゴマ科)

シャンパーノキとも言われ、マダガスカル原産で、現地では葉を水につけて揉んで出した樹液をシャンパーに利用するそうです。

テイカカズラ
(キョウチクトウ科)

大温室入口西のヤシの株元のほか園内各所で、華奢な茎いっぱい芳香のある花を咲かせています。売店ではスタージャスミンで販売しています。

ログガーデン

バラを主役として、その足元を飾る草花やハーブを植栽・展示し、この時期一番の賑わいで皆さんをお出迎えしております。御来園されたら、まず訪れて下さい!

